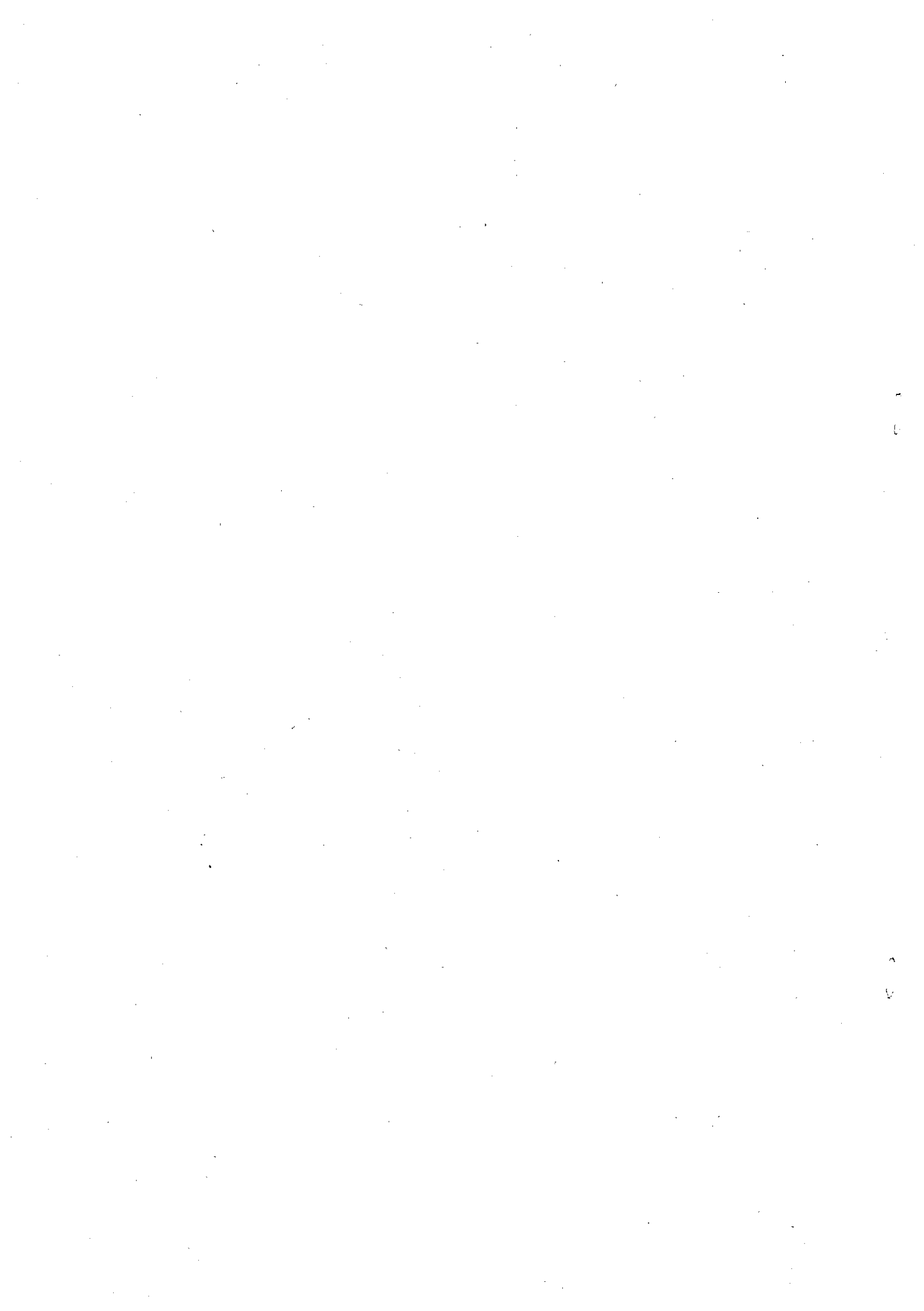


地域振興県土警察常任委員会資料

(平成26年10月9日)

- 1 航空自衛隊美保基地における陸上自衛隊大型輸送ヘリコプターの配備に係る
事前協議について 【地域振興課】・・・別 冊
- 2 とっとり暮らし首都圏PRイベントの開催について 【とっとり暮らし支援課】・・・1ページ
- 3 県内鉄道の高速度化調査について 【交通政策課】・・・2ページ
- 4 いなばのジビエフェスティバル2014の開催について 【東部振興課】・・・4ページ

地 域 振 興 部



とっとり暮らし首都圏PRイベントの開催について

平成26年10月9日
とっとり暮らし支援課

10月18日(土)～19日(日)の2日間、東京都内において首都圏の若い世代(子育て世帯等)を対象に“とっとり暮らし”の日常を紹介し、鳥取県で暮らすことを考えていただくためのトークセッションイベントを(特非)鳥の劇場と連携して開催します。

記

- 1 名称 とうきょうの真ん中で“地方の暮らし”を考える ～とっとりの場合～
- 2 開催日 平成26年10月18日(土)～19日(日)
- 3 場所 アーツ千代田3331(東京都千代田区)
(廃校(旧練成中学校)を利用した、誰でも自由に出入りできるアートセンター)
- 4 実施体制 主催:鳥取県、(特非)鳥の劇場
- 5 内容
 - (1)「とっとりでの子育て、暮らしの魅力」をテーマとしたトークセッション
(子育て世帯を集客するため、セッションの合間に鳥の劇場による子ども向けの演劇を上演)
<18日(土)> 11:00～16:30
 - ・白岡 崇氏(家具デザイナー/東京都からUターン)
 - ・西村 早栄子氏(森のようちえん・まるたんぼう/東京都から1ターン)
 - ・中村 隆行氏(素もぐり漁師、築き会副代表/埼玉県から1ターン)※18日の司会は上田まりえさん(日本テレビアナウンサー、とっとりふるさと大使)
<19日(日)> 11:00～16:30
 - ・来間 直樹氏(米子建築塾/東京都からUターン)
 - ・北垣 聡氏(森のようちえん hughug 代表)
 - ・河崎 妙子氏(レストラン・プロデューサー)
 - (2)その他
 - ・移住定住サポートセンター相談ブースによる移住相談対応
 - ・鳥取県で暮らす家族をテーマとした写真展
 - ・ファミリー似顔絵コーナー など

県内鉄道の高速化調査について

平成 26 年 10 月 9 日
交 通 政 策 課

これまで、「高速鉄道網のあり方検討事業」の中で九州新幹線（長崎ルート）、山形・秋田ミニ新幹線など先進事例の情報収集を行い、県内鉄道の高速化調査のための前提条件を把握してきたところです。

この結果を踏まえ、「智頭・因美線ルート」及び「伯備線ルート」の高速化調査に着手します。

1. 前提条件

○地上設備

- ・電化工事が必要となる。（電気設備、トンネル改築、ホームの嵩上げ等）
- ・軌道強化が必要となる。（ロングレール化、PCまくら木、道床厚確保、踏切改修等）

○車両性能

- ・新幹線区間における走行性能
時速 270km/h で安全・安定走行が可能である
- ・在来線区間における走行性能
直線部で 130km/h、曲線部で現行特急車両と同等速度で安全・安定走行が可能である。
ただし、半径 400m 未満の曲線部では現行急行車両と同等速度となる。
- ・FGT 車両幅を変換するには、軌間変換装置（約 100m）を含め直線で約 1km の軌道が必要となる。（通過速度は 10km/h）

2. 「智頭・因美線ルート」、「伯備線ルート」の高速化調査

本調査は、線路状況や新幹線と在来線のアプローチ部の検討、線形改良電化関係の検討、到達時間の検討などを行います。（調査期間が約 10 ヶ月必要なため、2 箇年で調査します。）

なお、本調査は、伯備線ルートは三県（鳥取県、島根県、岡山県）、智頭・因美線ルートは鳥取県で行います。

(1) 調査の内容

【H26 年度調査】

- ①線路状況の把握（曲線半径 400m 未満箇所の抽出、軌道構造の確認等）の把握
- ②新幹線・在来線アプローチ部の検討（軌間変換装置の配置検討、在来線乗り入れ検討等）
- ③線形改良の検討（曲線半径 400m 未満箇所の検討等）
- ④踏切の調査（改良必要箇所の抽出、改良構造の確認等）

【H27 年度調査】

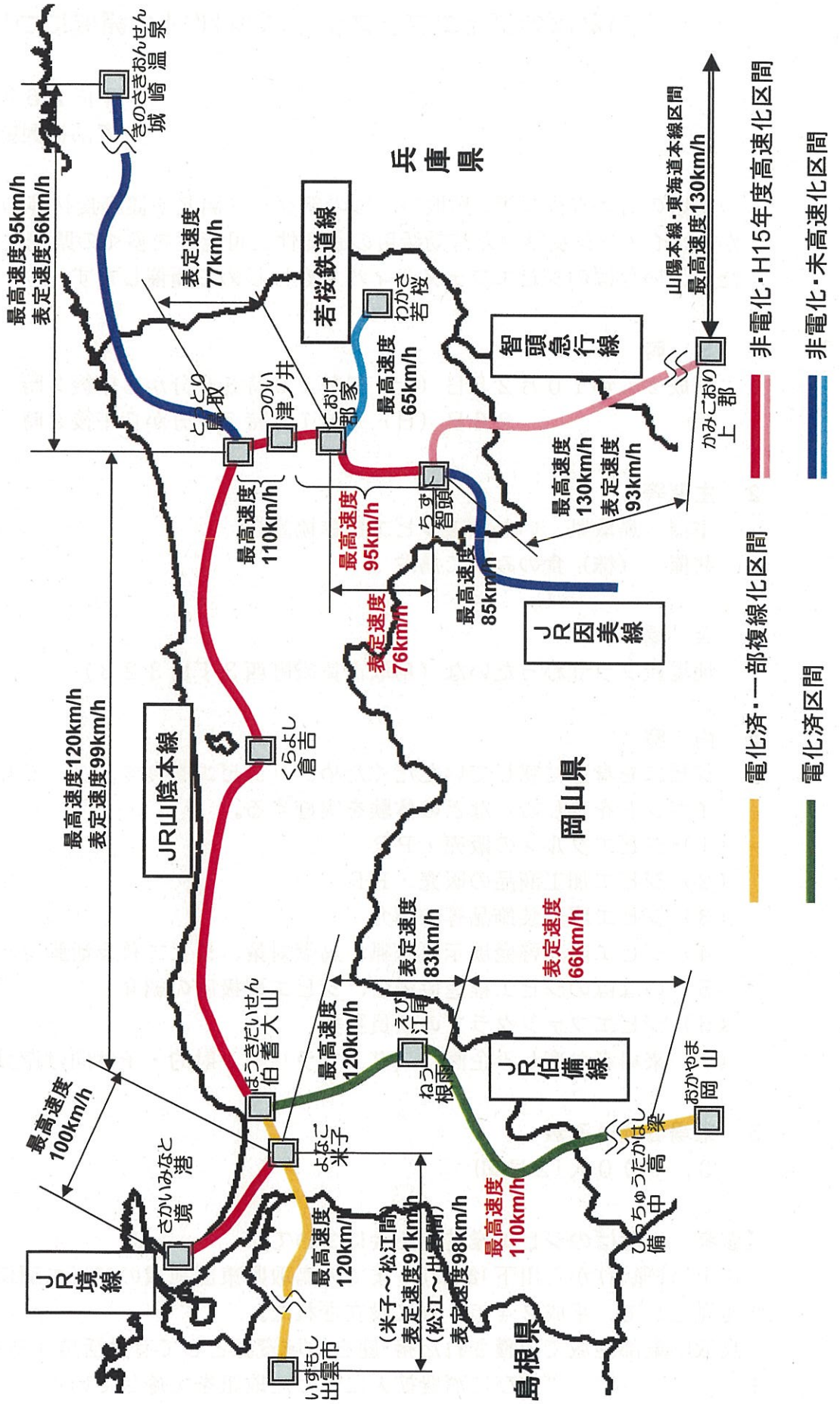
- ⑤留置、検修機能（車両留置等の確保を検討）
- ⑥電化関係の調査検討
- ⑦到達時間の算出（運転図の作成、ダイヤ設定等の調査）
- ⑧工事数量・概算経費の算定

(2) 今後のスケジュール

- ・H 26 年 10 月 調査開始
- ・H27 年 3 月 基礎調査完了
- ・H27 年 8 月 調査とりまとめ

鳥取県内鉄道路線図

(H26.9現在)



いなばのジビエフェスティバル 2014 の開催について

平成26年10月9日
東部振興監東部振興課

本県の有害鳥獣対策、鳥取いなばの新グルメ開発や健康食材等の多面的な視点から、イノシシ及びシカ有効活用の必要性和可能性を多くの県民に理解いただくため、いなばのジビエフェスティバルをはじめ開催します。

1 日 時

平成26年10月25日(土) 午前10時30分から午後3時
26日(日) 午前10時30分から午後3時

2 主催等

主催 鳥取県、いなばのジビエ推進協議会
共催 (株)食のみやこ鳥取

3 会 場

地場産プラザわったいな (鳥取市賀露町西3丁目323)

4 内 容

ジビエを身近に感じていただくため、「ジビエを食す」、「ジビエを知る」、「イベントを楽しむ」などの体験を実施する。

- (1) ジビエグルメの販売・PR
- (2) ジビエ加工商品の販売・PR
- (3) ジビエ関連装飾品等の紹介
- (4) ジビエ関連啓発展示(狩猟、鳥獣対策、ジビエ普及活動等パネル展示)
- (5) いなばのジビエ推進協議会、ジビエ取扱店の紹介
- (6) ジビエファンクラブの会員募集
- (7) 来場者お楽しみ企画(スタンプラリー、射的・子供向け遊具の設置など)

5 来場者見込み数

3,000人(2日間)

【参考：いなばのジビエ推進協議会について】

川上(狩猟者)から川下(飲食店)までの鳥取県東部地域のジビエ関係者が連携した組織として、平成24年5月に設立された。

鳥取県東部地域で捕獲された猪・鹿を地域資源として有効活用するために、ジビエのイメージアップ並びに消費拡大に向けた取組を実施している。